

用意するものと、その名称（取り外し編）

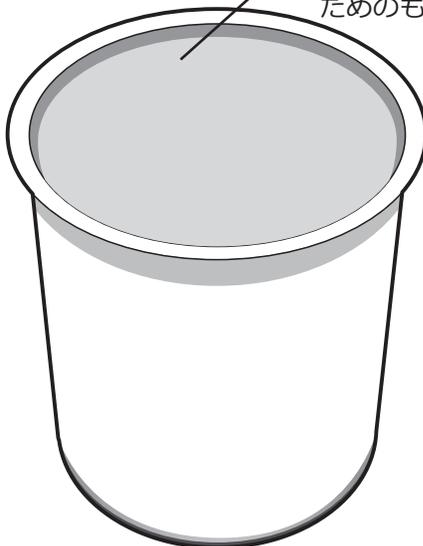


鏡

手鏡よりも、ドレッサーか、スタンドをお勧めします。

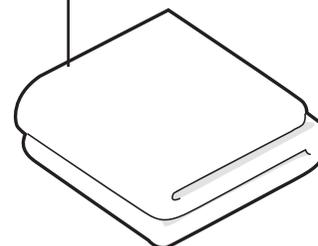
ゴミ箱

剥がした両面テープを捨てるためのものです。



おしぼりか、ミニタオル

ウィッグや頭皮についた接着剤を落とす際に、リムーバーとともに使います。



使い古しの歯ブラシ

ウィッグのレースについた接着剤を落とす際に、ブラシの部分を使います。



ハサミ

ウィッグから両面テープを剥がす際、ウィッグの毛髪がテープにくっついて取れないときに使用します。

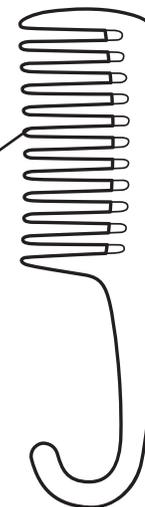


リムーバー

ウィッグや頭皮についた両面テープや接着剤を剥がす際に使います。

大きめの櫛

取り外した後に、髪を梳かすための櫛です。

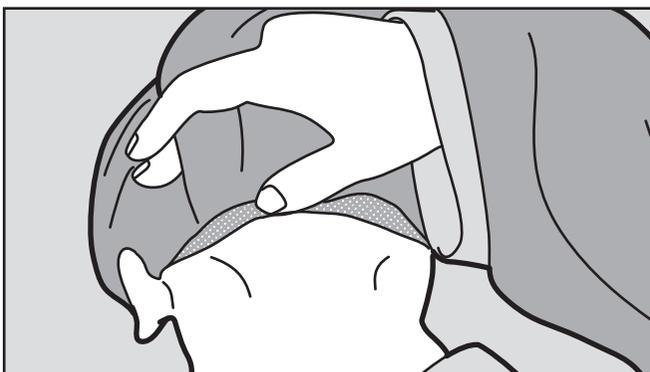


取り外しの手順

① うなじから指を使って丁寧にテープを剥がしていきます。



うなじ部分から、爪を立てないように指先で優しく丁寧に、ゆっくりと頭皮からテープを剥がしていきます。テープが頭皮ではなくウィッグについた状態になるようにします。

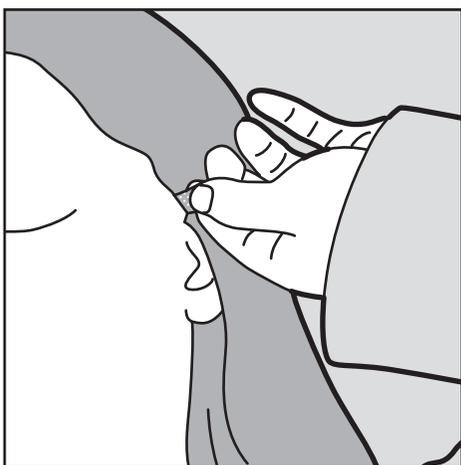


うなじとその周辺が外れた状態を後ろから見た図です(テープはウィッグについたままです)。うなじが外れたら、その両側を耳の方へ向かって同じように優しく剥がしていきます。



最初に軽く固定したテープも忘れずに剥がします。上は、耳の後ろのテープまで剥がしたところを横から見た図です(テープはウィッグについたままです)。

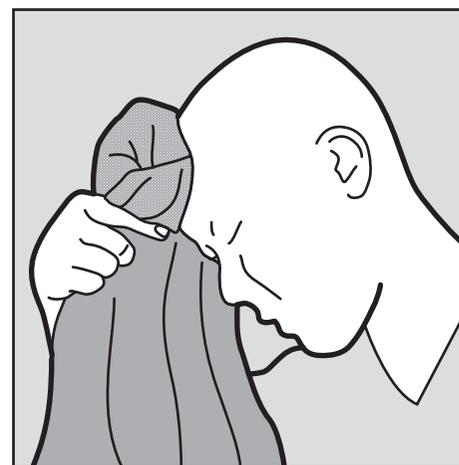
② もみあげ→こめかみ→おでこの順に剥がしていきます。



もみあげの、下のほうからやはり同じように優しく、皮膚を傷つけないようにテープを剥がします。

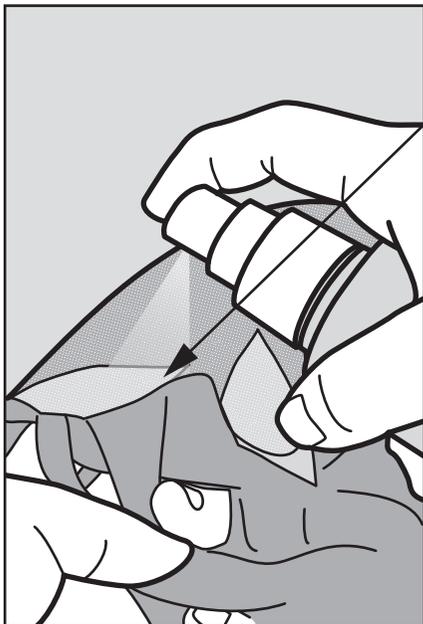


剥がしにくい場合は、ミニタオルかおしぼりにリムーバーを少量スプレーし、当該箇所を拭きながら剥がします。



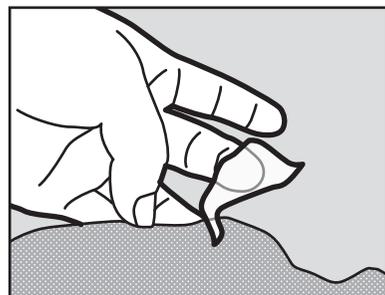
最後に、固定用のテープと、おでこの接着剤を丁寧に、ペリペリと剥がします。

③ ウィッグについてのテープを剥がします。

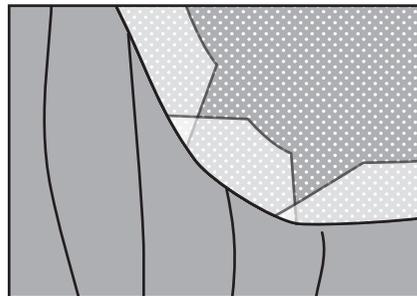


ウィッグリリアリムーバーを使いながら、テープを剥がします。

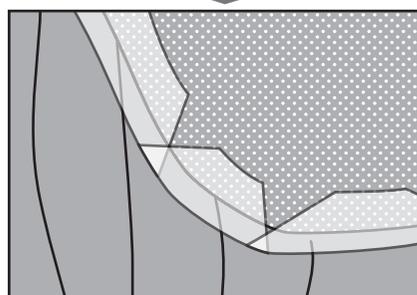
テープの端に直接リムーバーをスプレーし、指でなでつけるとテープの粘着力が緩みます。端からゆっくり丁寧にめくって剥がしていき、剥がれにくい箇所きたら再度スプレーし、剥がします。



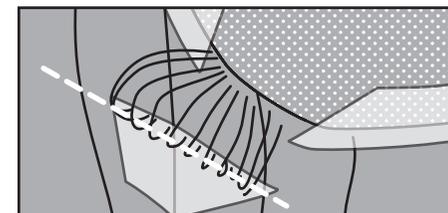
髪を抜かないよう、テープだけ剥がします。剥がしたテープはゴミ箱へ。



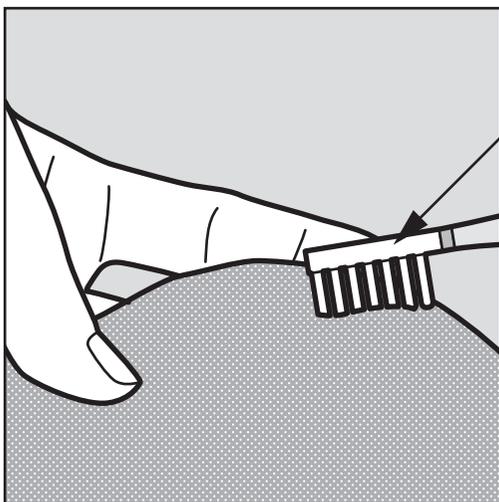
左/うなじとその周辺は、首を動かす際に皮膚も動くため、取り外す時は図のようにウィッグがずれていることがよくあります。



下/テープに髪が接着してしまい、どうしてもリムーバーでは剥がれない場合は、髪をなるべく長く残すよう、テープのキワで切ります。無理にテープを剥がして髪を抜くことのないよう、ご注意ください。



④ ウィッグについての接着剤を落とします。



ウィッグリリアリムーバーと歯ブラシを使って、額部分の接着剤を擦り落とします。

額部分や余ったレースの縁に使用した接着剤が、ウィッグのレースに残っていることがあります。

リムーバーを直接レースにスプレーし、歯ブラシで擦り、タオルで拭き取って、根気よく落とします。

このとき、完全に落ちなくても表面から見て接着剤のカスが見えないようであればそこで止めても大丈夫です。

擦りすぎて、レースが傷んでしまうことは避けましょう。レースはとても丈夫な材質ですが、万が一傷んでしまうと元には戻りません。

⑤ 完成です！

ウィッグについてのテープ、接着剤を落としたら、大きめの櫛で毛先からブラッシングします。

頭皮にテープや接着剤が残っている場合はリムーバーをタオルにスプレーして優しく撫でるようにして落とします。

WALKER スカルププロテクターは、お風呂で頭を洗うことで落とすことができます。

ウィッグはシャンプー、コンディショナーの後、よく乾燥させましょう。